

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h3>1 一人一人の児童生徒の尊重</h3>	<h3>2 友達への思いやり</h3>	<h3>3 道徳・心の教育の充実</h3>
<p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
<p>【学校から】○「豊かな心を育む教育」では今年度はコロナ禍で休校期間や行事の見直し等もあり、「4.3」の割合は、生徒が7ポイント、保護者が1ポイント、教職員10ポイント下がった。コロナ禍であっても安心・安全に生活できるように、生徒・保護者に対して一人一人を大切にしたい教育の充実に取り組んでいく。○「友達への思いやり」では、「4.3」の割合は、生徒が1ポイント上がり、99%であった。「2.1」の生徒がゼロになるよう、一層学級経営から学校全体に渡り取り組んでいく。○「道徳・心の教育」では、「4.3」の割合は、保護者は5ポイント上がり87%だったが、職員は3ポイント下がり90%だった。道徳が教科化されたので、職員研修を充実させ、一層の推進を目指していく。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

<h3>4 意欲的な学習態度</h3>	<h3>5 授業力向上</h3>	<h3>6 ICT活用</h3>
<p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○「授業に意欲的に取り組んでいる」の「3」「4」の割合は、生徒91%・保護者81%に対して、教職員は70%であった。○「授業づくりの工夫」では、生徒・保護者とも1ポイント上がり、教職員は9ポイント上がった。まだ、2割の生徒・保護者が更なる充実を期待されているので、主体的な学習を充実させながら自ら学ぶ生徒を育成していく。「ICTを活用したわかりやすい授業」の「3」「4」の割合は、生徒が7ポイント上がり94%、保護者が4ポイント上がり89%、教職員3ポイント下がり90%だった。コロナ禍でのタブレットを活用したライブ配信授業や各教科での授業も大幅に変化している。今後も、生徒の主体的な学習意欲を高めながら推進していく。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

【学校から】○「健康づくり」では、生徒が1ポイント上がり保護者は1ポイント下がった。コロナ禍でもあるので、感染対策を万全にし、心と身体の健康管理を行いながら、生活リズムを整え運動量も確保していく。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。

【学校から】○「生徒理解」では、「3」「4」の割合は生徒が3ポイント上がり87%、保護者は4ポイント上がり84%だった。○「いじめ問題等の対応」では、生徒は2ポイント下がり91%、保護者が7ポイント上がり85%だった。生徒や保護者の評価はあがったが、全生徒・保護者と学校の信頼関係が築けるよう、今後も生徒や保護者の声や思いに耳を傾け、丁寧に寄り添いながら対応していく。○「学校の支援体制」では、保護者が7ポイント上がり85%だったが、教職員25ポイント下がり75%であった。全職員で特別支援教育の発展を目標に掲げて取り組んできたが、生徒一人一人の多様な学び方に応じた授業づくりや支援体制づくりを工夫・改善していく。

②特別支援教育の推進

9 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

10 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

11 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

【学校から】○生徒が1ポイント上がり98%、保護者は3ポイント上がり93%だった。本校は、自転車通学学生の割合が多いので、交通ルールやマナーを遵守する指導を行い、学校生活も安全に過ごせるように見守っていく。

②最適な学習環境の整備

12 施設・設備の安全管理

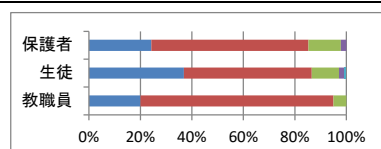
学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

【学校から】○生徒は3ポイント下がり89%、保護者は5ポイント上がり88%、教職員は16ポイント上がり95%だった。今後も定期的な安全点検を行い、安心して生活できる学習環境を目指して取り組んでいく。

③家庭・地域社会との連携強化

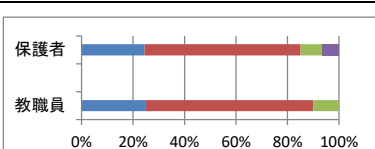
13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

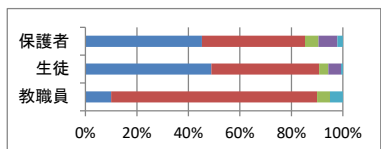


【学校から】○「教育方針・目標の理解」では、生徒が4ポイント上がり、保護者が12ポイント上がった。○「家庭や地域との連携協力」では、保護者が6ポイント上がったが、教職員が10ポイント下がり90%だった。今年度は、学校行事の大半が行えず、保護者に生徒の活躍する姿や学習の様子を参観してもらう機会が少なかったため、感染対策を十分にしながら保護者との連携協力を大切にしながら、教育活動を充実させていく。

⑧本校の教育

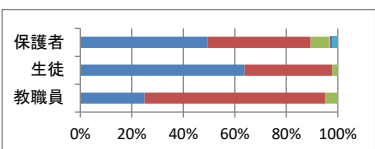
15 1 充実感・充足感

生徒は天明中学校に通ってよかった、保護者は天明中学校に通わせてよかったと思っていますか。



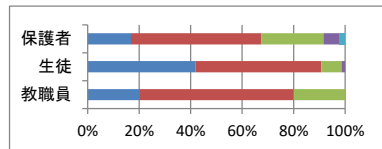
16 2 共生の教育

天明中生徒は、ボランティア活動によく取り組んでいると思いますか。



17 3 学力向上

天明中学校は、学力の向上に向けて、学校全体で積極的に取り組んでいると思いますか。



【学校から】○「充実感・充足感」では、「4」「3」の割合が生徒は4ポイント上がり91%、保護者が2ポイント上がり87%だった。今年度は、休校期間もあり学校行事も年間計画に沿ってできなかった。今後も、すべての生徒・保護者が本校の教育目標達成に向けて協力いただけるよう、魅力ある学校教育活動を行っていく。○「共生の教育」では、生徒は2ポイント上がり91%だった。今後も保護者や地域と連携しながら、天明の伝統を継承していく。○「学力向上」では、「4」「3」の割合が生徒は2ポイント上がり91%、保護者は1ポイント上がり69%だった。学校全体で学力向上に向けて取り組んできたが、学習に対する意欲は着実に高まってきているので、今後も継続して指導していく。

来年度の具体的な取り組みについて

- 教育目標方針については、さらに分かりやすく、学級・学校便り、PTA新聞、関係団体など、あらゆる機会を通して情報発信をしていく。
- 毎時間の授業が楽しくなるよう、ICTの有効活用や教材研究を全職員で取り組んでいく。特に、今年度から全生徒に対してタブレットが導入されたので、全教科でタブレットを効果的に活用しながら、生徒の意欲を高め、主体的に楽しく学べる授業づくりに取り組んでいき、学校だけでなく、家庭学習の充実にもつなげていく。
- 多様な教育的ニーズのある生徒には、一人一人のよさを生かしながら必要としている支援を行い、落ち着いて学べる学習環境や支援体制づくりに取り組んでいく。
- 学校職員や生徒会だけでなく、PTAや地域の諸団体とも連携しながら、よりよい天明の町づくりに寄与していく。
- 教科学習、安全、食育、総合的な学習の時間などにより、保護者・地域との人材交流、情報の共有をさらに進め、地域に根ざした教育を充実していく。特に、伝統的に取り組んできているボランティア活動は、地域の諸団体と連携して、「ホテルの里」「海浜清掃」「竹炭づくり」「下草刈り」を学校全体で取り組んでいく。
- 体力づくりでは、生徒の体力向上と健康的な生活習慣を年間計画に沿って取り組んでおり、体力は徐々に向上している。今年度は、コロナ禍にあり、十分にできなかったところもあるが、継続して取り組んでいく。
- 新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、生徒や保護者、地域の理解と連携・協力しながら、天明町全体が安心・安全に暮らせるまちづくりに貢献していく。

学校関係者評価

- 生徒たちは、素直で明るい表情で学校生活を送っている。校内には、生徒作品や学校行事で頑張っている生徒の写真が数多く掲示しており、学校生活が充実していると感じた。今後も、楽しく生き生きと学校生活を送れるよう、生徒たちのために教育活動を充実させてもらいたい。
- 各教科の授業では、全生徒に貸与されているタブレットやICT機器を効果的に活用しており、わかりやすい授業と感じた。これからの社会は、タブレット等を活用して自ら主体的に学びを深める時代となってきたので、あらゆる機会を通して生徒や保護者が活用できるように定着させてもらいたい。
- 健康教育は、コロナ禍で一層実感できたように、すべての人が命や健康を守ることを最優先に考え行動する必要がある。天明中は、年間計画に沿って進めているが、今後も継続して取り組んでほしい。
- 家庭教育や学習習慣を定着させていく必要性を感じた。生徒の学力向上を目指し、学校と家庭が連携して取り組んでもらいたい。
- SNSの所持率が高いので、正しい活用についてしっかり指導していく必要がある。そのためにも、家庭と連携してルールやマナーの必要性を理解し、トラブルに巻き込まれないようにしてもらいたい。
- 各教室だけでなく、特別教室にもエアコンが設置されており、季節に関係なく学びやすい環境となっている。今後の教育の質の高まりが期待される。